

評価の様式例 障害児通所支援(児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援)

分類	理念、事業方針等	評価項目	1	①法人の理念 ②事業方針・将来像 を定めている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料	リデルライト両女史記念館	
概要・事例	<p>明治28年ミス・リデル女史とミス・ノット女史が熊本市中央区黒髪5丁目でハンセン病救済事業である『熊本回春病院』を開設する。ミス・リデル女史とミス・ノット女史の『愛と奉仕の精神』を継承し、利用者個人の人権を尊重することが柱となった理念になっている。これまでも、社会福祉の推進及び地域貢献事業に取組み時代に合った、福祉事業を実践してまいりました。</p> <p>本法人は、高齢者事業を実施してきましたが、現代社会では、核家族化により他世代との関わりが減り、各世代に多様な課題があり全世代が支援を必要としています。このような状況も踏まえ、支援される一方ではなく互いに支援しあえる地域社会の実現に向け今後も、事業展開及び事業運営を行って参ります。</p>			
分類	理念、事業方針等	評価項目	2	①長期的な事業計画 ②中期的な事業計画 ③年度ごとの事業計画 (収支予算項目を含む。)を策定している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>本法人は介護保険事業及び熊本市委託事業・低所得対策・地域貢献事業など、社会福祉事業の質の向上及び事業の拡充に貢献してまいりました。本事業も法人として各世代の抱える多様な課題に問題意識と時代の必要性を想定し、本事業を開設いたしました。</p> <p>平成28年3月1日に開設し、運営がスタートした直後に熊本地震にみまわれ利用者が被災し、住み慣れた地域から避難する状況が、現在も続いています。事業運営の目標として、現登録人数5名から平成28年10月(3ヶ月後)までには登録人数10名まで増員平成29年3月(9ヶ月後)までには1日の利用定員10名を目指し、運営の安定化を目標といたします。</p> <p>中長期目標として多世代交流での人の支え合いを目標に、本事業の多機能化を目指します。</p>			

分類	理念、事業方針等	評価項目	3	①法人の理念 ②事業方針・将来像 ③中長期的な事業計画 を全職員が理解するため、研修の開催等の取組みを定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>①法人の理念については、施設内や事務所に掲示し共有する努力をしている。</p> <p>②事業方針については、年度計画及び月に1回開催される運営会議などで法人全体と事業運営方針を議論している</p> <p>③法人内に研修委員会が設置され、キャリアアップ研修・法人全体の研修及び事業所研修など職員が学びステップアップする機会を多く設けている。年に1回の各事業所が実績を発表する場があり、全職員を対象としている。事業計画の進捗及び事業状況の分析事業内容を含め各事業所の職員が発表している。</p> <p>事業の中長期的な計画を職員が共有する場は設けていないので今後の課題とする。</p>			
分類	理念、事業方針等	評価項目	4	①法人の理念 ②事業方針・将来像 ③中長期的な事業計画 を児童の保護者等が理解するため、説明会の開催等の取組みを定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>保護者に向けた説明会は行っていないため、実施内容を定め、今後の課題とする。</p>			

分類	経営状況の分析	評価項目	5	事業計画に基づく事業の経営・進捗状況を定期的に分析している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>月に1度運営に関する会議が開催されているため、事業課題や事業の進捗状況を話し合い場はある。 事業内容の変更や方針を決定する内容は、管理会議で理事長を含め事業内容の検討を行っている。</p>			
分類	経営状況の分析	評価項目	6	経営・進捗状況の分析により課題を把握し、改善に向けた取組み及び必要に応じて事業計画の見直しを行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>年度途中の計画・予算消化の修正は行い、理事会・評議会を通じ実施している。</p>			

分類	管理者等の責務	評価項目	7	管理者が自ら業務改善及び効率化に関する対策等を提案し、職員を指導している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>事業内容の質の向上が大きな課題である事を理解している。業務内容の改善及び効率化などは、日々の業務の中で確認しながら業務の改善・効率化の課題解決に向けた取組みを行っている。</p> <p>今後も業務内容の改善及び効率化に向け努力する。</p>			
分類	管理者等の責務	評価項目	8	管理者が自らサービスの質の向上に関する対策等を提案し、職員を指導している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>実際の業務にあたり、児童の個性や特性を理解し、サービスの質の向上に向けた対策の提案をしている。</p> <p>効率化できる部分とできない部分があるため、苦慮することが多いが職員を増員するなど組織体制の見直しも含め日々検討している。</p>			

分類	管理者等の責務	評価項目	9	児童発達支援管理責任者が自らサービスの質の向上に関する対策等を提案し、その他の従業者を指導している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	月に2回業務内容や児童の様子などを話し合う場を設けている。業務内容次第で開催できないこともあるが、全職員で課題を共有し、質の向上に取り組める機会を設けるよう努力する。			
分類	職員の質の向上	評価項目	10	①必要な人材像 ②職員の育成方針 ③客観的な職員の評価基準 を定めている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	施設内の研修委員会を通じ、研修する機会が多くあるため、職員の質の向上及び育成に力を注いでいる。 職員の評価基準は法人で定めてあり、国家資格を有し基本的レベルに達成した職員が評価を受けるシステムになっている。 経験年数での評価は事業の自己評価があるため、積極的には取り組んでいないが今後の検討課題とする。			

分類	職員の質の向上	評価項目	11	必要な人材像を踏まえた職員採用を行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>職員採用には力を注いでいるが、法人サイドが考える人材雇用には至っていない。 今後も職員採用には法人をあげ力を注ぎ、事業内容の質の向上に繋げたい。</p>			
分類	職員の質の向上	評価項目	12	客観的な職員の評価基準により、定期的な人事評価を行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>評価については、自己評価の後、上司評価を数値化し、多面的に評価している。 給与形態は、給与規則で明確になっており、公平性の元、給与が支払われている。 また、不明な点はいつでも対応できるようにしている。</p>			

分類	職員の質の向上	評価項目	13	職員の育成方針及び職員ごとの意向を踏まえ、職員ごとの育成・研修計画を定め、必要に応じてその計画を見直している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>事業の質を高めるためには、職員の育成は欠かせないと理解している。本法人は全体で14事業所事業数があるため、本人の希望やキャリアアップに向け各種研修受講や資格取得・事業所の異動など様々に対応している。</p> <p>今後も職員の育成には力を注ぐものである。</p>			
分類	職員の質の向上	評価項目	14	全ての職員が、職員ごとの育成・研修計画に基づき、①事業所内の研修 ②外部の研修 に定期的に参加している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>本法人は、職員の資格取得・キャリアアップに向けた取組みに力を注いでいる。</p> <p>施設内の研修は年10回以上あり、その他外部研修にも参加できるよう業務調整を行っている。</p>			

分類	職員の質の向上	評価項目	15	職員が受けた研修の成果について、レポート、報告会等で全職員が共有している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>全国大会・県大会での発表・東北への災害派遣等、社会的役割の大きいものについては、全職員を対象とした職員研修会で発表する機会を設けている。研修会に勤務で参加できなかった職員については、内部閲覧できるよう資料の回覧があり、全職員がなんらかの形で情報共有する仕組みがある。</p> <p>事業所内に於いては、職員会議や資料の回覧で行っている。</p>			
分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	16	専門学校、大学等の実習生の受入れ、育成等を定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>現段階での受け入れはない。</p> <p>今後は積極定期に受入れを行っていきたい。</p>			

分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	17	ボランティアの受入れを定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>定期的ではないが、受入れを行っている。児童の個人情報の問題もあるため、今後は定期的な受入れとし、個人情報に関する問題にも着目したい。</p>			
分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	18	関係機関(同じサービスを提供する事業所等)と具体的な課題、事例等を検討する会議を定期的に開催し、参加している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>個々の事業所や学校との課題共有に向けた交流は行っている。</p> <p>できるだけ各種、関係機関と連携を図りながら事業の質の向上に努める。</p>			

分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	19	周辺地域、関係機関等に対し、便りや会報で事業所の情報を提供している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>併設の高齢者グループホームは2ヶ月に1回、運営推進会議を開催している。</p> <p>運営推進会議には、地域の自治会長・民生委員・地域の介護事業所等で構成され、集まった会で事業運営を報告するようになっている。児童の個人情報に配慮しながら、高齢者との融合の場面を報告している。</p> <p>会報は法人が年3回発行している中に載せ、配布している。</p>			
分類	地域福祉への貢献、交流等	評価項目	20	①事業所の行事等の地域への解放 ②地域の行事等への参加 を定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>熊本地震の影響により地域行事が縮小傾向にあるが、機会があれば積極的に参加したい。</p>			

分類	苦情解決、利用者ニーズの把握	評価項目	21	児童及びその保護者に対し、事業所内の苦情解決制度(窓口)を定期的に周知している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>苦情解決窓口を設置し重要事項説明書に記載し、保護者へ説明をしている。法人内で苦情対策委員会を設置し、3ヶ月に1回委員会を開催し、各事業所に寄せられた苦情を理事長を含め検討・改善するシステムができている。</p> <p>苦情の発生から処理方法まで、苦情処理対策委員会の指針・対応マニュアルに沿って処理を行い、ホームページで内容の公表を行っている。今後も、苦情については真摯に受け止め対応をする。</p>			
分類	苦情解決、利用者ニーズの把握	評価項目	22	苦情解決に必要な対応を客観的に判断できるよう、第三者委員等を設置している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>法人全体で設置している。</p>			

分類	苦情解決、利用者ニーズの把握	評価項目	23	アンケート等により、サービスの内容に係る児童及びその保護者のニーズを定期的に把握している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>現在のところ、実施していないが、外部評価も含め保護者のニーズの把握に努め、サービスの質の向上に努める。</p>			
分類	苦情解決、利用者ニーズの把握	評価項目	24	ニーズに基づき把握した課題を踏まえ、サービスの質の向上に係る取組みを行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>個人のニーズについては個別支援計画内に盛り込むようにしているが、保護者へのアンケート調査をもとに個別支援計画に反映でき、保護者との関係性がより良いものになることで、児童の成長に役立てると考える。</p> <p>今後の検討課題とする。</p>			

分類	利用者の人権尊重	評価項目	25	人権侵害、虐待、セクシャルハラスメント等に係る事業所内の研修会を定期的を開催している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>人権・虐待については研修会を設けており、定期的に職員への周知を行っている。ご家族から同性介助を申し出てもらっている方については、対応している。今後も研修会を重ね、適切な対応を行う。</p>			
分類	利用者の人権尊重	評価項目	26	人権侵害、虐待等が見過ごされないための取組み(管理者による職員ごとの面接、職員相互のチェック等)を定期的に行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>職場環境を良好に保ち、互いの言動を指摘できる風土づくりを目指している。</p> <p>職員間で言動が適切でなかった場合は、言動の振り返りを行い、適切に対応できるよう指導している。</p>			

分類	個人情報の保護	評価項目	27	個人情報の保護に係る事業所内の研修会を定期的を開催している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>個人情報の取り扱いについては、就職時に個人情報に関する誓約書を全職員から書面で誓約し、定期的な研修会で情報の保護に取り組んでいる。</p> <p>重要事項に個人情報の取り扱いについて、説明と同意を得ながら情報の取り扱いには留意している。</p> <p>今後も、情報の取り扱いについては十分な配慮を持ち実施する。</p>			
分類	個人情報の保護	評価項目	28	アセスメント表、支援計画等の個人情報が記載された記録は、施錠可能なキャビネットに保管する等の対応を行っている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>個人情報については施錠できる場所に保管している。</p> <p>個人のデータが入った媒体については、事業所保管とし事業所外への持ち出しを行わないようにしている。</p>			

分類	サービス提供方法等の共有	評価項目	29	提供するサービスの標準的な取扱いを規定する手引書(マニュアル)を作成している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>事業内容に向けたマニュアルは作成しているが、現状に即した内容になっているか確認しながら、マニュアルの見直しも含め、画一的なサービス内容にならないように支援することを努力する。</p>			
分類	サービス提供方法等の共有	評価項目	30	手引書(マニュアル)の見直しの必要性を判断するため、実務に携わる職員の意見を定期的に確認している。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>マニュアル見直しの際は、職員の意見を反映した内容にしている。見直しは年1回としているが必要があれば都度見直し、より良い支援ができるように検討する。</p>			

分類	サービス提供方法等の共有	評価項目	31	サービスの提供の記録に当たり、①児童の心身状況・様子 ②職員が提供した介護・支援 の内容が詳細に記録されている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>支援記録については、決められた内容の記載が求められている。何より大切なことは、支援記録の職員間での共有になる。兼務職員もいるため、支援記録を始め他の指導員より情報収集を行って業務に従事するようにしている。情報の共有が大きな課題であるが、より良い支援のため、今後も努力する。</p>			
分類	サービス提供方法等の共有	評価項目	32	児童ごとの詳細な課題及びそれに応じた支援方法について、週ごと、月ごと等の頻度で、児童発達支援管理責任者を中心とした職員間で協議・記録し、支援計画の見直しに繋げている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>月に2回支援内容を見直し及び支援方法を見直す話合いの場を設けている。課題や話し合われた内容を詳細に記載していないため、記載内容を取り決め、内容が記録されるシステムづくりの構築につなげる。今後の課題とする。</p>			

分類	サービスごとの質の向上	評価項目	33	集団生活への適応、日常生活動作等について、具体的に到達すべき目標を定めている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>個別支援計画の内容を確認しながら児童の性格や個性・目標達成など目標達成できるよう支援する。</p> <p>支援内容については、職員で共有した支援方法を実施し、職員がチームで児童の生活能力が向上するよう支援する。</p>			
分類	サービスごとの質の向上	評価項目	34	児童が自ら対応できる動作、行動等については、緊急時の対応ができる範囲で声掛けや見守りの支援を優先するよう計画に定め、それに基づき支援をしている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>児童の個性を理解した上で、多くの体験ができるように支援する。支援する上で、児童の安全確保が大切ではあるが、見守りながらも、児童の自発性を求めつつ児童の成長につながるよう支援する。</p> <p>高齢者との付き合い方も社会に出てから大切なことであるため、挨拶や接し方を始め自発的に高齢者と向き合えるように支援する。</p> <p>児童も高齢者も支援される一方ではなく相互の支援が成立することが社会の中でのコミュニケーション技術に繋がると考える。</p>			

分類	サービスごとの質の向上	評価項目	35	児童の保護者に対する療育指導等を行う機会を定期的に設けている。
取組み状況	該当 ・ 非該当	関連資料		
概要・事例	<p>個別面談の中で出た課題については、保護者と共に検討するようにしているが、集団での療育指導は実施していない。</p> <p>保護者・学校とは課題や問題意識を送迎時間を通じて日々話す時間を設け、児童の支援にフィードバックするように支援している。</p> <p>児童が多くの経験をすることで、健やかな成長につながるよう、保護者や学校・熊本市と日々連携を図りながら今後も事業運営を実施することとする。</p>			